

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1)子どものスポーツ推進

番号	1-1-1		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員		
取組項目	「まちとも」と連携した放課後のスポーツ推進					
取組内容	スポーツ推進委員や地域スポーツクラブが「まちとも」で子どもたちにスポーツの楽しさを伝えます。					
指標	スポーツ推進委員・地域スポーツクラブと連携した地区数		現状値 (2018年度)	2地区		
			目標値 (2023年度)	5地区		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	3地区	4地区	5地区	5地区	5地区	
実施状況	3地区	2地区	4地区			
2021年度 具体的な 取り組み	<p>○本町田小学校(町田第二地区) 町田スポーツ文化ネットワーク ・新型コロナウイルスの影響により、上半期のスポーツプログラムの提供は未実施となった。10月から通常通り再開した。</p> <p>○忠生第三小学校(木曾地区) 町田スポーツ文化ネットワーク ・新型コロナウイルス感染症の影響により、上半期のスポーツプログラムの提供は一部実施することができなかったが、10月から通常通り再開した。</p> <p>○小山ヶ丘小学校(小山地区) おやまスポーツ・文化倶楽部 ・新型コロナウイルスの影響により、外部指導員との連携を中止していた。12月からスポーツプログラムの提供を再開した。</p> <p>○南大谷小学校(玉川学園・南大谷地区) スポーツ塾J.VIC ・新たに「まちとも」と連携し、陸上教室等の教室を実施した。</p> <p>○南第一小学校(南地区) なんまち絆クラブ ・2022年度から新たに「まちとも」との連携を図るため、調整を行なった。</p>					
総括	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、各学校において「まちとも」と外部指導員との連携を中止していた期間があり、事業を実施することが困難な期間があった。緊急事態宣言解除後、徐々に「まちとも」や外部指導員との連携を再開することができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、2022年度以降、新たに連携を予定していた地区等で事業の実施が出来るよう調整を重ねていく。</p>					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1)子どものスポーツ推進

番号	1-1-2		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員		
取組項目	市内10地区のスポーツマップの作成・活用					
取組内容	地域のスポーツが楽しめる場所やスポーツ情報がまとめられた地図を作成し、市内の全小学生に配布します。					
指標	スポーツマップを作成した地区数		現状値 (2018年度)	0地区		
			目標値 (2023年度)	10地区		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討調査	2地区	4地区	7地区	10地区	
実施状況	検討調査	2地区	4地区			
2021年度 具体的な 取り組み	<p>・相原地区、小山・小山ヶ丘地区のスポーツマップを作成し、ホームタウンチーム(FC町田ゼルビア)と連携を図り、区域内の小学校5校に配布した。</p> <p>・2020年度に作成した南地区、高ヶ坂・成瀬地区のスポーツマップについて、新1年生を対象に区域内の小学校12校に配布した。</p> <p>・配布した小学校の子どもたちだけでなく、未就学児の保護者等、子育て世代の方が情報を取得できるよう、スポーツマップのデータをホームページに公開し、ボール遊び等ができる公園については、市内全域の情報をホームページに公開した。</p> <p>・2022年度以降作成する地区のスケジュール、掲載内容について検討を行なった。</p>					
総括	<p>相原地区、小山・小山ヶ丘地区のスポーツマップを作成し、小学校5校に配布したほか、南地区、高ヶ坂・成瀬地区についても新1年生を対象に区域内の小学校12校にスポーツマップを配布した。引き続き、関係各課や関係団体と連携し、2022年度は、新たに3地区(町田第一地区、町田第二地区、南大谷・玉川学園地区)のスポーツマップを作成する。</p>					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1)子どものスポーツ推進

番号	1-1-3		実施主体	教育委員会		
取組項目	小学校連合体育大会の開催					
取組内容	市内全小学校が参加する連合体育大会を開催します。					
指標	連合体育大会参加学校数		現状値 (2018年度)	未開催		
			目標値 (2023年度)	42校		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	14校	42校	42校	42校	42校	
実施状況	14校	20校	42校			
2021年度 具体的な 取り組み	<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、小学校連合体育大会を開催した。 10月14(木)15日(金)に町田市立小学校42校の6年生約4000名が町田GIONスタジアム(町田市立陸上競技場)に集まり、各種競技を行った。</p> <p>【参加校】 町田市立小学校 42校</p> <p>【競技種目】 (1)100m走 (2)50mハードル走 (3)走り幅跳び (4)走り高跳び (5)チャレンジ種目(特別支援学級等種目) (6)400mリレー</p>					
総括	子どもたちの、自己の目標を達成する喜びを味わう姿や、他校との交流を深める中で、互いに認め合い励まし合う姿が見られた。本大会を通じて、他校の児童と交流、競技・応援することにより、スポーツを楽しむ機会となった。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1)子どものスポーツ推進

番号	1-1-4		実施主体	スポーツ振興課 オリパラ推進課 指定管理者		
取組項目	トップアスリートとの交流機会の創出					
取組内容	市内外で活躍する町田市ゆかりのトップアスリート等と市民との交流の機会を創出します。					
指標	トップアスリートとの交流機会の創出		現状値 (2018年度)	年 1回		
			目標値 (2023年度)	年 9回		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	年 8回	年 9回	年 7回	年 8回	年 9回	
実施状況	年 11回	年3回	年14回			
2021年度 具体的な 取り組み	<p>【こどもマラソン大会】 リオオリンピック10,000m女子日本代表の関根花観さん(2020年12月引退)に出演いただき、選手にメッセージを頂戴したほか、選手と一緒に走るなどの交流をし図った。</p> <p>【総合体育館】 ・「エンジョイ☆スポーツまちだ2022」において、元日本代表バドミントン選手によるバドミントン教室を実施した。 ・元日本ハンドボールリーグ出場選手による、ハンドボール教室を実施した。 ・元U-17・20フェンシング日本代表コーチ及び全日本団体優勝選手による、フェンシング教室を実施した。 ・元日本代表バレーボール選手による、大人のバレーボール教室を実施した。</p> <p>【成瀬グリーンセンターテニスコート】 ・ユニバーシアード日本代表、全豪オープン出場選手による、テニスクリニックを実施した。</p> <p>【室内プール】 ・日本代表カヌー選手によるカヌー体験会を実施した。</p> <p>【木曾山崎グラウンド】 ・元日本代表サッカー選手による、サッカー教室を実施した。</p> <p>【GIONスタジアム】 ・元日本代表サッカー選手による、大人のサッカー教室を実施した。 ・5大学(明大、青学大、立大、中大、法大)の駅伝選手との1万メートルのタイムレースを実施した。 ・元日本代表陸上選手による、陸上競技記録会の開催(GIONスタジアム)※11/13</p> <p>【オリンピック・パラリンピック関連】 ・8/8(日)に東京2020パラリンピックに出場するパラ射撃の水田選手と子どもセンター5館をオンラインでつなぎ社団会を実施した。 ・8/22(日),8/23(月)にインドネシアパラバドミントン代表チームの事前キャンプ公開練習見学、8/22(日)にオンライン交流を実施した。 ・3月に東京2020オリンピック男子マラソンに出場した大迫選手と小中学生を対象としたイベント(Sugar Elite kids)を町田GIONスタジアムで実施</p>					
総括	ソーシャルディスタンスを確保した交流イベントやオンラインの活用等感染症対策を十分に講じて実施することにより、市民との交流の機会を創出することができた。また、指定管理者で工夫を凝らしながら、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じたうえで、様々な競技のトップアスリートと交流イベントや教室を実施したことで、子どもから高齢者まで、多くの方にスポーツの楽しさを伝えることができた。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (2)働き盛り世代・子育てのスポーツ推進

番号	1-2-1		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
取組項目	企業単位で行えるスポーツ情報、出前講座の提供					
取組内容	市内企業を対象として健康経営の必要性を啓発し、事業所によるスポーツ推進の取組みを支援します。					
指標	出前講座の提供を行った企業数		現状値 (2018年度)	0社		
			目標値 (2023年度)	10社		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	1社	3社	5社	8社	10社	
実施状況	2社提供 1社調整	1社	1社			
2021年度 具体的な 取り組み	○町田中央公園指定管理者 「協和キリン株式会社」にて、従業員向けに、「歩行姿勢測定会の実施」、「正しい歩き方に関する講義」を行った。 参加者:140名 ※2020年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、総合体育館指定管理者は「榊プリンシプル自動車」、室内プール指定管理者は「花の家」での実施を断念した。状況にもよるが、来年度も実施に向け、企業と調整をする。					
総括	2019年度から調整を行っていた企業について、一部の施設では行うことができたが、他の施設についても、2019年度から調整をしていた施設と、改めて企業連携を図れるように、調整をする。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (2)働き盛り世代・子育てのスポーツ推進

番号	1-2-2		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者 スポーツ推進委員 ほか		
取組項目	子どもの健診時のスポーツ啓発					
取組内容	3歳児健診等子どもの健診時に、子育て中でも日常生活の中で行えるスポーツについて情報提供します。					
指標	啓発物の作成・配布		現状値 (2018年度)	未実施		
			目標値 (2023年度)	実施		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討 作成	実施	見直し 実施	見直し 実施	実施	
実施状況	検討 作成	実施	見直し 実施			
2021年度 具体的な 取り組み	・2020年度に作成したチラシの見直しを行い、市ホームページにて紹介している運動に関する動画情報の掲載について検討を行なった。 ・新型コロナウイルスの影響により、健康診査に訪れる方へ配布が困難な状況となったため、健康福祉会館にチラシを設置した。					
総括	引き続き保健所と連携を図りながら、子育て中の方に対し、日常生活の中で行えるスポーツに関する情報を発信し、効果的に啓発できるより良い方法を検討する。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (2)働き盛り世代・子育てのスポーツ推進

番号	1-2-3		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員 体育協会 ほか	
取組項目	家族で参加できるスポーツイベントの開催				
取組内容	すば一つ祭まちだや市民体力テスト等のイベントが連携し、家族で参加できるスポーツイベントを開催します。				
指標	市民体力テスト年間参加者数 (20歳代～50歳代まで)		現状値 (2018年度)	年 75人	
			目標値 (2023年度)	年 450人	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	検討	年 450人	年 450人	年 450人	年 450人
実施状況	検討	検討	年 151人		
2021年度 具体的な 取り組み	特に参加者の少ない20代から40代の働き世代に多く参加してもらえるよう、親子で楽しめる ニュースポーツ体験コーナーやレディオ体操コーナーの設置をおこなうことで、例年よりも若い世 代の参加者が増加した。また、スポーツ祭まちだの主催団体の一つである体育協会にも見学お よび体験をしてもらい、協力の実現に向けて前進することができた。				
総括	参加率の低い層を呼びかける企画を盛り込んで実施するのは初めてであったが、足を運んできた 参加者の年齢層が見てわかるほど異なっていた。体験コーナーを設置したことは好評で、連 れのお子様やファミリーで楽しむ姿が散見された。一方、体力テスト自体をファミリーで体験した いという声もあったが、子ども用の測定用紙や種目を用意していなかったため、次年度は改善し ていきたい。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-3-1		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員		
取組項目	高齢者へのニュースポーツ啓発					
取組内容	スポーツ推進委員がニュースポーツを普及し、高齢者の活動でスポーツの面白さ、楽しさを伝えます。					
指標	高齢者支援センターと連携して事業を実施した地域		現状値 (2018年度)	未実施		
			目標値 (2023年度)	6地域		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	2地域	3地域	4地域	5地域	6地域	
実施状況	1地域	1地域	5地域			
2021年度具体的な取り組み	南第一、第二、第三高齢者支援センターが合同で企画したラダーゲッター講習会で、推進委員が講師を務め、利用者に対して講習を行った。これまで実施を行ってきた忠生地域では新たな講習は行っていないものの、センターや自主グループから相談があった際には引き続きフォローを行っている。その後、講習を受けた方々が成果を披露する発表会が開催された。今後の継続的な活動に期待したい。					
総括	これまで、個別に各センターに向いて講習を行ってきたが、今回は依頼をいただいて実施をすることとなった。別地域でも実施に向けた調整を行っていたが、今年度はスケジュールの折り合いがつかず断念した。来年度は鶴川地域、堺地域に向けて早々に連絡を取って計画を立てていきたい。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-3-2		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
取組項目	温浴施設を活用したスポーツ環境の充実					
取組内容	室内プールに併設する温浴施設を活用し、スポーツ教室等を通じて地域の仲間づくりや多世代交流の機会を創出します。					
指標	温浴施設を活用した事業の実施		現状値 (2018年度)	未実施		
			目標値 (2023年度)	実施		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	—	—	検討	実施	実施	
実施状況	—	工事	工事・検討			
2021年度具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度から引き続き、温浴施設整備のため、工事を実施した(2020年10月末～2021年12月まで)。工事終了後は、2022年4月からの供用開始に向け、備品や什器の設置等の稼働準備を行った。 ・室内プールと温浴施設を管理・運営を担う指定管理者の選定を行った。 					
総括	2022年4月からの供用開始に向け、稼働準備を行った。温浴施設の多目的室を活用したスポーツ教室等の実施については、利用状況を確認しながら、高齢者向けのスポーツ教室の開催や、プールと温浴施設を利用した際のセット割等を実施し、運動を行ってこなかった高齢者層に向けて、スポーツ機会の提供に努めるなど、引き続き指定管理者と検討を行う。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(4)障がい者のスポーツ推進

番号	1-4-1		実施主体	障がい福祉課 子ども発達支援課 指定管理者		
取組項目	スポーツ・レクリエーション教室等の開催					
取組内容	障がい者(児)スポーツ教室を開催し、スポーツを楽しめる環境を整えます。 ①障がい者スポーツ教室(旭町体育館、すみれ教室プール) ②指定管理者による教室・イベント事業					
指標	開催回数		現状値 (2018年度)	①体:年35回、プ:年30回 ②年51回		
			目標値 (2023年度)	①体:年36回、プ:年36回 ②年55回		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	①体:年36回 プ:年36回 ②年53回	①体:年36回 プ:年36回 ②年55回	①体:年36回 プ:年36回 ②年55回	①体:年36回 プ:年36回 ②年55回	①体:年36回 プ:年36回 ②年55回	
実施状況	②37回	①体:年5回 プ:年2回 ②28回	①体:5回 プ:6回 ②44回			
2021年度 具体的な 取り組み	<p>①障がい者スポーツ教室(サン町田旭体育館、町田市子ども発達センター温水プール)体育館31回、プール25回を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大状況や、サン町田旭体育館が接種会場として利用されていたこともあり、4月から11月までの教室(体育館26回、プール19回)を中止した。12月から体育館教室、1月からプール教室を再開。感染対策を行いながら体育館5回、プール6回を3月までに実施する。</p> <p>②指定管理者による教室・イベント事業 【総合体育館】2回 ・障がい者卓球教室→コロナにより中止 ・イベント2回 チャレンジマッスル2021…ユニカール、ボッチャ、パッコー、車いす10mトライアル等 エンジョイ☆スポーツまちだ2022…ボッチャ、ユニカール等</p> <p>【室内プール】18回 ・ボッチャ&モルック体験会…8回実施し、延べ160名参加 ・シッティングバレー体験会…2回実施し、延べ25名参加 ・フライングディスク体験会…2回実施し、延べ101名参加 ・すみれ教室プール…6回</p> <p>【野津田公園】24回 ・「パラ(障がい者)陸上競技教室」24回 関東パラ陸上競技協会との共催で実施。障害のレベルと個人の体力・技術レベルに合わせ、夏期・冬期各12回実施し、延べ68名の参加があった。 ※【町田中央公園】 ・障がい者卓球教室の実施を予定していたが、ワクチン接種会場使用により開催中止。</p>					
総括	サン町田旭体育館の東京オリンピック・パラリンピック関連事業に伴う利用制限や子ども発達センターの設備整備、使用申請落選により、当初の教室開催回数が目標値を下回った。 また、新型コロナウイルスの感染拡大により施設の貸出中止、その後もワクチン接種会場としての利用など、施設が利用できない状況が続いた。施設の貸出再開後も、障がいのある方を対象とした教室のため、感染者が発生した場合のリスクが大きいことから、感染対策の検討が必要となり再開までに時間を要したが、12月から体育館教室、1月からプール教室を順次再開することができた。 イベントでは、障がい者スポーツの実施が定着してきた。室内プールでは2021年度から新たに障がい者スポーツ教室を実施し、スポーツ環境の充実を図った。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(4)障がい者のスポーツ推進

番号	1-4-2		実施主体	オリパラ等国際大会推進課 スポーツ振興課		
取組項目	小学生を対象とした障がい者スポーツ体験教室開催					
取組内容	市内の小学校で、障がい者スポーツの体験教室キャラバンを行います。					
指標	年間参加者数		現状値 (2018年度)	年 710人		
			目標値 (2023年度)	年 1,000人		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	年 1,000人	年 1,000人	年 1,000人	年 1,000人	年 1,000人	
実施状況	年 1,465人	年 760人	年 794人			
2021年度 具体的な 取り組み	<p>市内小学校を対象にパラバドミントンの体験教室を実施し、競技説明や競技用車いす体験、バドミントン体験を行った。</p> <p>○南第二小学校 6/22(月) 6年生59人 ○町田第一小学校 6/29(水) 5年生107人 ○小川小学校 10/28(火) 4年生71人 ○鶴川第二小学校 11/22(水) 4年生81人 ○町田第三小学校 12/22(水) 4年生68人 ○成瀬中央小学校 12/23(木) 5年生59人 ○小山田南小学校 4年生88人 ○函師小学校 2年生83人 ○南第二小学校 5年生74人 ○七国山小学校 4年生104人</p>					
総括	コロナ禍においても市内小学校9校794人の児童にパラアスリートによる体験教室を実施することができた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により当初実施予定の13校から実施校が減ったことや、感染症対策として1回当たりの体験人数をコロナ前より少なくしたことにより、目標人数には届かなかった。 2022年度も日本障がい者バドミントン連盟には選手派遣の協力、町田市バドミントン連盟には指導員派遣の協力をいただき、継続して実施する。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (4)障がい者のスポーツ推進

番号	1-4-3		実施主体	指定管理者 スポーツ振興課	
取組項目	障がい者のスポーツ参加機会の提供				
取組内容	インクルーシブスポーツを推進し、障がい者にスポーツ施設開放利用の周知することにより、利用者数を増やします。 <small>※インクルーシブスポーツとは、子どもから高齢者まで、障がい者も健常者も一緒に楽しめるスポーツ</small>				
指標	スポーツ施設開放年間利用者数		現状値 (2018年度)	20,401人	
			目標値 (2023年度)	22,000人	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	検討 調整	調整	21,000人	21,000人	22,000人
実施状況	検討 一部実施	調整 一部実施	6,826人		
2021年度 具体的な 取り組み	○総合体育館 ・トレーニング室 障がい者利用者数 1,816人 ・8月、12月に子どもから高齢者、障がい者などなたでも楽しめるイベントを実施した。 ○室内プール ・トレーニング室 障がい者利用者数 247人／プール 3,936人 ・町田市バリアフリーマップ、TOKYO障がいスポーツナビに施設紹介を掲載した。 ○町田中央公園 ・トレーニング室 障がい者利用者数 297人 ・障がい児スポーツ教室は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止。 ※障がい者卓球教室等の教室事業については、ワクチン接種会場使用のため開催中止。 ○野津田公園 530人				
総括	新型コロナウイルス感染症拡大の影響やワクチン接種会場となったことで、教室事業を展開できなかったことや、利用者自身の施設利用自粛が想定されるため、障がい者利用者数は目標値に達することができなかった。				

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
 (1)スポーツを支える人材の育成

番号	2-1-1		実施主体	スポーツ振興課		
取組項目	大学・企業連携によるスポーツを支える人材の派遣					
取組内容	大学・企業連携により、子どもの遊びやスポーツ指導等、学生や民間企業が地域で活動する環境を整えます。					
指標	連携団体数		現状値 (2018年度)	1団体		
			目標値 (2023年度)	7団体		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	4団体 検討 調整	5団体 検討 調整	6団体 検討 調整	7団体	7団体	
実施状況	3団体 4団体 検討 調整	1団体 検討 調整	2団体 検討 調整			
2021年度 具体的な 取り組み	<p>【実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本体育大学 <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人スポーツ塾J.VICとの協働で、日本体育大学所属の指導者が講師となり、高齢者を対象とした「室内で無理なく簡単にできる！ストレッチ&トレーニング講座」を実施したほか、子どもから高齢者を対象とした運動プログラムの動画を作成し、町田市ホームページで公開した。 ○法政大学 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、10月まで教室事業を中止していたが、11月末から法政大学の教員や学生が講師となり、協定に基づくスポーツ教室を再開した。 <p>【新型コロナウイルスの影響により中止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国士舘大学 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに関する協定に基づき、協定教員や学生が講師となり、大学の敷地内でスポーツ教室を実施することを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を実施することが困難な状況であった。 ○第一生命株式会社 <ul style="list-style-type: none"> ・市との包括協定に基づき、走り方教室等を実施するよう調整を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、講師を派遣することが困難な状況であったため、2022年度以降の開催に向け、調整を重ねていく。 					
総括	新型コロナウイルス感染症の影響により、各団体において講師派遣、スポーツ教室の中止等、事業を実施することが困難な状況であった。新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、2022年度以降、事業再開に向け、各団体と調整を行う。					

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
 (1)スポーツを支える人材の育成

番号	2-1-2		実施主体	オリパラ等国際大会推進課		
取組項目	まだサポーターズの活動機会の充実					
取組内容	スポーツ祭東京2013を契機としたスポーツボランティア「まだサポーターズ」が活躍できる環境を整え、活動参加者数を増やします。					
指標	年間延べ活動参加者数		現状値 (2018年度)	年 3,038人		
			目標値 (2023年度)	年 3,300人		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	年 3,300人	年 3,300人	年 3,300人	年 3,300人	年 3,300人	
実施状況	年 3,405人	年 974人	年 2,474人			
2021年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・第1四半期活動 13回162人 ・第2四半期活動 44回655人 ・第3四半期活動 32回351人 ・第4四半期活動 67回506人 <ul style="list-style-type: none"> ・ゼルビア活動(2021シーズン) 18試合505人 ・ゼルビア活動(2022シーズン) 2試合82人 ・ペスカドーラ活動(2021-2022シーズン) 11試合213人 					
総括	感染者数の減少に伴い活動の場が増え、2020年度と比較すると活動に参加した延べ人数は増加したが、緊急事態宣言の影響により活動の場が少なかったため、目標達成には至らなかった。目標達成には至らなかったが、自転車ロードレースを始めとした東京2020オリンピック・パラリンピックの活動など、新たな分野で活動の幅を広げることができた。オリンピック・パラリンピック終了後もまだサポーターズを継続していく上で、新たな活動の場の開拓やまだサポーターズ自身で活動の場を生み出していくことが求められる。					

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実

(1) スポーツを支える人材の育成

番号	2-1-3		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員	
取組項目	地域密着型スポーツ推進委員の育成				
取組内容	スポーツ推進委員が地域と連携し活動できるよう、市内10地区に均等に配置します。				
指標	スポーツ推進委員が関わる地区協議会数		現状値 (2018年度)	0地区	
			目標値 (2023年度)	10地区	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	0地区	3地区	6地区	6地区	10地区
実施状況	0地区 検討	0地区 検討	0地区 検討		
2021年度 具体的な 取り組み	ポッチャ指導の実施など、今までの活動実績・連携実績から既に関わりのある5地区(成瀬地区、南地区、忠生地区、鶴川地区、小山・小山ヶ丘地区)と自主事業(スポーツにチャレンジ)の実施拠点となっている町田地区に担当を配置した。				
総括	直ちに地区協議会と連携を行うことは難しいとの意見も多く、その前段階としてまずは地区での実績作りに注力を行っているため、今後は地区協議会との連携手法についても検討していく必要がある。また、地域との連携度合いや認知度にばらつきがあるため、周知および連携体制のスキームを構築していきたい。				

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
 (2) スポーツを支える団体の支援・育成

番号	2-2-1		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ		
取組項目	地域スポーツクラブの活動支援と地域活動の推進					
取組内容	地域スポーツクラブの活動を支援し、地域と連携した活動の定着を図ります。					
指標	町内会自治会と連携したクラブ数		現状値 (2018年度)	2クラブ		
			目標値 (2023年度)	5クラブ		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	2クラブ 調査	2クラブ 検討 調整	3クラブ 検討 調整	4クラブ 検討 調整	5クラブ	
実施状況	2クラブ 調査	2クラブ 検討 調整	3クラブ 検討 調整			
2021年度 具体的な 取り組み	<p>○町田スポーツ文化ネットワーク 放課後等子ども遊び場見守り事業「まちとも」との連携は実施できたが、町内会自治会等地域の各主体と連携した地域スポーツ活動については、地域でイベント等を自粛していたこともあり、実施できなかった。</p> <p>○おやまスポーツ文化倶楽部 新型コロナウイルスの影響により、11月まで放課後等子ども遊び場見守り事業「まちとも」との連携を中止していたが、2021年度中の再開に向け、学校やまちとも運営協議会等地域の各主体と調整を重ね、12月から事業を再開することができた。</p> <p>○法政クラブ 指定管理者や町内会自治会といった地域の各主体と連携して、相原ふれあいフェスティバルにてスポーツ体験を実施した。</p>					
総括	「まちとも」との連携を中心に、地域の方との連携を深めることで、地域での活動をスムーズに進めることができている。「まちとも」や地域の各主体との連携を希望している団体が増えているため、2022年度以降も、3団体の活動を参考に、地域スポーツクラブと町内会自治会等との連携方法について引き続き検討し、新たな地域での連携を進めていく。					

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
 (2) スポーツを支える団体の支援・育成

番号	2-2-2		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員 体育協会 ほか		
取組項目	【再掲】家族で参加できるスポーツイベントの開催					
取組内容	すぽーつ祭まちだや市民体力テスト等のイベントが連携し、家族で参加できるスポーツイベントを開催します。					
指標	市民体力テスト年間参加者数 (20歳代～50歳代まで)		現状値 (2018年度)	年 75人		
			目標値 (2023年度)	年 450人		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討	年 450人	年 450人	年 450人	年 450人	
実施状況	検討	検討	年 151人			
2021年度 具体的な 取り組み	特に参加者の少ない20代から40代の働き世代に多く参加してもらえよう、親子で楽しめるニュースポーツ体験コーナーやレディオ体操コーナーの設置をおこなうことで、例年よりも若い世代の参加者が増加した。また、スポーツ祭まちだの主権団体の一つである体育協会にも見学および体験をしてもらい、協力の実現に向けて前進することができた。					
総括	参加率の低い層を呼びかける企画を盛り込んで実施するのは初めてであったが、足を運んできた参加者の年齢層が見てわかるほど異なっていた。体験コーナーを設置したことは好評で、連れのお子様やファミリーで楽しむ姿が散見された。一方、体力テスト自体をファミリーで体験したいという声もあったが、子ども用の測定用紙や種目を用意していなかったため、次年度は改善していきたい。					

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
 (2) スポーツを支える団体の支援・育成

番号	2-2-3		実施主体	オリパラ等国際大会推進課		
取組項目	まちだサポーターズの組織化					
取組内容	まちだサポーターズを組織化し、スポーツイベントの運営にに欠かせない存在に育成します。					
指標	まちだサポーターズの育成		現状値 (2018年度)	検討		
			目標値 (2023年度)	実施		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	オリンピック・パラリンピック開催に向けた活動拡充	オリンピック・パラリンピック後の体制づくり	活動方針検討	活動方針決定	実施	
実施状況	オリンピック・パラリンピック開催に向けた活動拡充	オリンピック・パラリンピック後の体制づくり	活動方針検討 活動方針決定			
2021年度 具体的な 取り組み	<p>・まちだサポーターズの自律化に向けた検討を行う有志「総務班」の会議を適宜オンラインを活用しながら月1回実施した。事務局である市とまちだサポーターズの協力関係をさらに発展させ、会員1人1人の思いを活動に活かす仕組みを整えることを目的として、まちだサポーターズ定款及び細則案を作成した。11月21日に開催した第1回設立総会(114名参加)にて定款及び細則が制定された。</p> <p>・四半期に1回まちだサポーターズが集まり、交流や今後の企画検討を行うまちサポm²Tと新人研修会を開催した。5月はビデオ通話を活用したオンライン実施とすることで緊急事態宣言下においても実施した。</p> <p>第1四半期 m²T22名 新人研修会13名参加(オンライン開催) 第2四半期 m²T58名 第3四半期 総会114名 新人研修会17名参加 第4四半期 m²T43名 新人研修会22名参加(仮)</p>					
総括	<p>総務班が中心となって活動方針の検討作業を進めたことにより、活動方針となる定款及び細則を制定することができた。今後も毎年4月～6月に総会を開催する。 引き続きまちだサポーターズと協働し、自主運営事業の支援や人材の育成など、まちだサポーターズの自立化を進めていく。</p>					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-1		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員		
取組項目	【再掲】「まちとも」と連携した放課後のスポーツ推進					
取組内容	スポーツ推進委員や地域スポーツクラブが「まちとも」で子どもたちにスポーツの楽しさを伝えます。					
指標	スポーツ推進委員・地域スポーツクラブと連携した地区数		現状値 (2018年度)	2地区		
			目標値 (2023年度)	5地区		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	3地区	4地区	5地区	5地区	5地区	
実施状況	3地区	2地区	4地区			
2021年度 具体的な 取り組み	○本町田小学校(町田第二地区) 町田スポーツ文化ネットワーク ・新型コロナウイルスの影響により、上半期のスポーツプログラムの提供は未実施となった。10月から通常通り再開した。 ○忠生第三小学校(木曾地区) 町田スポーツ文化ネットワーク ・新型コロナウイルス感染症の影響により、上半期のスポーツプログラムの提供は6回にとどまった。10月から通常通り再開した。 ○小山ヶ丘小学校(小山地区) おやまスポーツ・文化倶楽部 ・新型コロナウイルスの影響により、外部指導員との連携を中止していた。12月からスポーツプログラムの提供を再開した。 ○南大谷小学校(玉川学園・南大谷地区) スポーツ塾J.VIC ・まちともと連携し、陸上教室等の教室を実施した。 ○南第一小学校(南地区) なんまち絆クラブ ・2022年度から新たに「まちとも」との連携を図るため、調整を行なった。					
総括	新型コロナウイルス感染症の影響により、各学校において「まちとも」と外部指導員との連携を中止していた期間があり、事業を実施することが困難な期間があった。緊急事態宣言解除後、徐々に「まちとも」や外部指導員との連携を再開することができた。 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、2022年度以降、連携を見込んでいた地区や新たな地区で事業の実施が出来るよう調整を重ねていく。					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-2		実施主体	スポーツ振興課 公園緑地課		
取組項目	大規模スポーツ広場7箇所を含む、調整池、公園・学校予定地等におけるスポーツ施設整備					
取組内容	大規模なスポーツ広場は公のスポーツ施設として整備し、その他の施設は市民利用を拡大します。					
指標	スポーツ施設数(公の施設)		現状値 (2018年度)	29施設 (有料開放している学校4施設含む)		
			目標値 (2023年度)	35施設		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	31施設	31施設	33施設	35施設	35施設	
実施状況	31施設	35施設	37施設			
2021年度 具体的な 取り組み	○丘の上グラウンド、成瀬鞍掛グラウンド ・グラウンドの整備が完了した。まちだ施設案内予約システムに登録し、2022年度から公のスポーツ施設として市民利用を開始する。 ○小山上沼公園 ・工事に向けて、関係各課と調整をした。					
総括	2021年度は、計画通りに進めることができた。 2022年度は、2023年度に供用開始予定の1施設(小山上沼公園)の整備を行う。					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-3		実施主体	スポーツ振興課		
取組項目	中小規模・民有地スポーツ広場利用のルール作成					
取組内容	中小規模・民有地スポーツ広場は利用のルールを作成し、市民利用を拡大します。					
指標	作成したルールに基づく利用の実施		現状値 (2018年度)	未実施		
			目標値 (2023年度)	実施		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	調査 検討	調整 作成	実施	実施	実施	
実施状況	調査 検討	調整 作成	調整 実施			
2021年度 具体的な 取り組み	スポーツ広場をスポーツマップへ掲載すると同時に、スポーツ広場管理運営委員会と調整し、子どもたちがボール遊び等で利用できる時間や利用上のルール等を掲載し情報発信をした。					
総括	スポーツマップ作成地区の拡大にあわせ、順次スポーツ広場の利用方法等について情報発信を進めていく。					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-4		実施主体	スポーツ振興課 公園緑地課		
取組項目	公園のスポーツ利用の促進					
取組内容	スポーツ利用できる公園をスポーツマップに掲載し、地域の身近なスポーツができる場の情報提供を行います。					
指標	利用方法の見直し		現状値 (2018年度)	—		
			目標値 (2023年度)	10地区		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討 調査	2地区	4地区	7地区	10地区	
実施状況	検討 調査	2地区	4地区			
2021年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度以降の掲載対象公園については、制札板の修正を全て完了させた。 ・2地区(小山・小山ヶ丘地区、相原地区)におけるスポーツマップを作成し、配布をした。 ・全地区における掲載対象公園について、ホームページに公開した。 					
総括	2021年度については、計画通り進めることができた。制札板の修正については、前倒しで完了することができた。					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-5		実施主体	スポーツ振興課		
取組項目	夜間照明設備の設置					
取組内容	夜間照明設備を設置することにより利用時間の延長を行います。					
指標	夜間照明設置		現状値 (2018年度)	6施設		
			目標値 (2023年度)	9施設		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討	検討	調整	調整	9施設	
実施状況	7施設 8施設	7施設	7施設			
2021年度 具体的な 取り組み	夜間照明設備を含めて整備する小山上沼公園スポーツ施設整備について、整備工事を行うための検討を行った。					
総括	小山上沼スポーツ施設整備について、工事に向けて関係各課と調整をした。					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-6		実施主体	スポーツ振興課		
取組項目	大学・企業連携によるスポーツ施設の市民利用拡大					
取組内容	大学・企業連携により、各団体が所有するスポーツ施設を市民が利用できるようにします。					
指標	連携団体数		現状値 (2018年度)	2団体		
			目標値 (2023年度)	7団体		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	4団体 検討 調整	5団体 検討 調整	6団体 検討 調整	7団体	7団体	
実施状況	4団体 検討 調整	1団体 検討 調整	2団体 検討 調整			
2021年度 具体的な 取り組み	<p>【実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京家政学院大学(登録団体数:24団体、登録者数:137人) ・新型コロナウイルスの影響により、8月まで利用を中止していたが、9月から再開し、テニスコートの利用に関する連携事業を継続して実施した。 ○法政大学 ・新型コロナウイルスの影響により、10月まで教室事業を中止していたが、11月末から再開し、法政大学のスポーツ施設を活用し、スポーツ教室を実施した。また、スポーツ教室の情報をホームページに掲載し、事業の周知を図った。 <p>【新型コロナウイルスの影響により中止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体において敷地内への立ち入り制限があり、事業を実施することが困難な状況であった。 ○国士舘大学 ○和光大学 ○サレジオ工業高等専門学校 ・施設の貸出について、テスト利用を行い、市民への貸出方法等検討する予定で調整しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、テスト利用が困難な状況であった。引き続き、市民への施設貸出に向けた調整を行なう。 					
総括	協定締結団体数は5団体となったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、各団体において敷地内への立ち入り制限があり、利用に向けた調整や事業を実施することが困難な状況であった。2022年度以降は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、事業実施に向け、各団体と調整を行う。					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (2)「みる」スポーツ環境の充実

番号	3-2-1		実施主体	スポーツ振興課 公園緑地課 営繕課		
取組項目	総合体育館、陸上競技場におけるスポーツ観戦環境整備					
取組内容	陸上競技場を15,000人収容のスタジアムに改修し、競技場の活用の幅を広げ、市民のにぎわいを創出します。 また、総合体育館に大型映像装置を整備し、スポーツの観戦環境の充実を図ります。					
指標	—		現状値 (2018年度)	未整備		
			目標値 (2023年度)	整備		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	整備	整備	—	—	—	
実施状況	整備	整備	—			
2021年度 具体的な 取り組み	<p>【総合体育館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2020年度からは、ペスカドーラ町田のホームゲームや大規模大会で総合体育館の大型映像装置が活用されている。試合の観戦者や大会参加者に、より良い環境を提供することができた。 <p>【野津田陸上競技場】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町田GIONスタジアムの観客席増設工事が完了し、5月から使用を開始した。 2019年8月から着手した町田GIONスタジアムの観客席について、2021年5月に完成した。 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じたうえで、観客席の完成を記念して行った落成式には多くの方が訪れたほか、FC町田ゼルビアのホームゲームやこどもマラソン大会などの大規模大会でも活用されている。 					
総括	<ul style="list-style-type: none"> 総合体育館大型映像装置については、ペスカドーラ町のホームゲームや大規模大会以外に、市民大会や市内イベント等での活用をPRし、スポーツ以外の用途も含めた様々な形で活用されるように周知していく必要がある。 観客席増設に伴い、町田GIONスタジアムがJ1基準のスタジアムとなり、観るスポーツの観戦環境の充実を図ることができた。新型コロナウイルスによる規制が緩和された後に、15,000人規模の動員ができるような新たな大規模イベントの開催を検討する必要がある。また、イベントを検討するにあたり、スポーツイベント以外にも検討する。 					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (2)「みる」スポーツ環境の充実

番号	3-2-2		実施主体	教育委員会		
取組項目	【再掲】小学校連合体育大会の開催					
取組内容	市内全小学校が参加する連合体育大会を開催します。					
指標	連合体育大会参加学校数		現状値 (2018年度)	未開催		
			目標値 (2023年度)	42校		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	14校	42校	42校	42校	42校	
実施状況	14校	20校	42校			
2021年度 具体的な 取り組み	<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、小学校連合体育大会を開催した。 10月14(木)15日(金)に町田市立小学校42校の6年生約4000名が町田GIONスタジアム(町田市立陸上競技場)に集まり、各種競技を行った。</p> <p>【参加校】 町田市立小学校 42校</p> <p>【競技種目】 (1)100m走 (2)50mハードル走 (3)走り幅跳び (4)走り高跳び (5)チャレンジ種目(特別支援学級等種目) (6)400mリレー</p>					
総括	<p>子どもたちの、自己の目標を達成する喜びを味わう姿や、他校との交流を深める中で、互いに認め合い励まし合う姿が見られた。本大会を通じて、他校の児童と交流、競技・応援することにより、スポーツを楽しむ機会となった。</p>					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (2)「みる」スポーツ環境の充実

番号	3-2-3		実施主体	スポーツ振興課 オリパラ等国際大会推進課 広報課 ほか	
取組項目	パブリックビューイングの実施				
取組内容	ホームタウンチームの試合や町田ゆかりのアスリートが国際大会や全国大会に出場する際など、パブリックビューイングを実施し、オール町田の一体感を創出します。				
指標	年間実施回数		現状値 (2018年度)	年 1回	
			目標値 (2023年度)	年 3回	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	年 3回	年 3回	年 3回	年 3回	年 3回
実施状況	年 5回	年 2回	年 1回		
2021年度 具体的な 取り組み	町田市ゆかりのアスリートである大迫傑選手(男子マラソン)の応援イベントを、母校である金井中学校の体育館で実施した。参加対象を在校生及び保護者とし、21名が参加した。大迫選手の中学生当時を知る関係者をゲストに招き、解説を交えながら競技中継を放映した。				
総括	IOC・IPC・組織委員会・東京都・国の5者協議によるコミュニティライブサイト中止の要請を受け、当初予定していたコミュニティライブサイトでのパブリックビューイングを中止した。 男子マラソンに出場した大迫傑選手の出身校である金井中学校では、参加者制限・規模縮小化することで感染対策を図り、応援イベントを実施することができた。				

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
(1)スポーツ情報の発信

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
(1)スポーツ情報の発信

番号	4-1-1		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員		
取組項目	【再掲】市内10地区のスポーツマップの作成・活用					
取組内容	地域のスポーツが楽しめる場所やスポーツ情報がまとめられた地図を作成し、市内の全小学生に配布します。					
指標	スポーツマップを作成した地区数		現状値 (2018年度)	0地区		
			目標値 (2023年度)	10地区		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討調査	2地区	4地区	7地区	10地区	
実施状況	検討調査	2地区	4地区			
2021年度具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・相原地区、小山・小山ヶ丘地区のスポーツマップを作成し、ホームタウンチーム(FC町田ゼルビア)と連携を図り、区域内の小学校5校に配布した。 ・2020年度に作成した南地区、高ヶ坂・成瀬地区のスポーツマップについて、新1年生を対象に区域内の小学校12校に配布した。 ・配布した小学校の子どもたちだけでなく、未就学児の保護者等、子育て世代の方が情報を取得できるよう、スポーツマップのデータをホームページに公開し、ボール遊び等ができる公園については、市内全域の情報をホームページに公開した。 ・2022年度以降作成する地区のスケジュール、掲載内容について検討を行なった。 					
総括	相原地区、小山・小山ヶ丘地区のスポーツマップを作成し、小学校5校に配布したほか、南地区、高ヶ坂・成瀬地区についても新1年生を対象に区域内の小学校12校にスポーツマップを配布した。引き続き、関係各課や関係団体と連携し、2022年度は、新たに3地区(町田第一地区、町田第二地区、南大谷・玉川学園地区)のスポーツマップを作成する。					

番号	4-1-2		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者 ホームタウンチーム		
取組項目	スポーツ以外の既存情報発信ツールとの連携					
取組内容	スポーツが主たる目的ではない団体と連携し、それらの団体のもつ情報発信ツールを活用することで、今までスポーツ情報が行き届かなかった層に対してスポーツ情報を効果的に届けます。					
指標	—		現状値 (2018年度)	未実施		
			目標値 (2023年度)	実施		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討実施	実施	実施	実施	実施	
実施状況	検討実施	実施	実施			
2021年度具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者支援センター ・地域で行うスポーツ教室について、地域の支援センターにチラシの設置を行った。 ○子どもセンター、保育園 ・地域で行うスポーツ教室について、各所で発行しているお便りへの掲載やチラシの設置を行った。 ・まちだ子育てサイトに、小学生や未就学児、親子を対象としたスポーツ教室について掲載した。 ○健康だより(町田市総合健康づくり月間) ・地域で行うスポーツ教室の情報を発信したほか、地域スポーツクラブが作成した「自宅でもできる運動動画」について紹介した。 					
総括	新型コロナウイルスの影響により、対面式でのスポーツ教室の実施が難しい状況であったため、自宅でもできる動画やチラシを作成し、新しい生活様式に合わせたスポーツ情報の発信を行なった。2022年度は、他部署や他の団体等とのさらなる連携を図り、新たな生活様式にも対応したスポーツに関する情報を様々な媒体で発信していく。					

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
 (2)スポーツを通じたシティプロモーション

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
 (2)スポーツを通じたシティプロモーション

番号	4-2-1		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
取組項目	ホームタウンチームと連携したPR活動					
取組内容	ホームタウンチームと連携し、スポーツ施設や駅周辺をチームカラーに装飾します。また、ホームタウンチームの地域活動を支援します。					
指標	—		現状値 (2018年度)	実施		
			目標値 (2023年度)	拡大		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	実施	実施	実施	実施	拡大	
実施状況	実施	実施	実施			
2021年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年5月からFリーグの開幕に合わせて町田駅ペDESTリアンデッキの横断幕、タペストリーを設置。ペスカドーラのチームカラーで一体感のある装飾をすることでPRを行った。 ・2021年11月、ペスカドーラのシーズン後半戦再開に合わせて、試合を盛り上げるために町田駅ペDESTリアンデッキにのぼりを設置した。 ・2022シーズンのJ2開幕戦に合わせ、町田駅ペDESTリアンデッキに横断幕、タペストリーを設置し、ゼルビアカラーに装飾した。同時に庁内での応援ウィークを実施した。 					
総括	ホームタウンチームを周知・PRできる場所が限られているため、2022年度以降はより広く市民へ周知できるように、新たな広報の場の獲得を検討していく。					

番号	4-2-2		実施主体	オリパラ等国際大会推進課 スポーツ振興課 観光まちづくり課 ほか		
取組項目	ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催によるシティプロモーション					
取組内容	ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた気運醸成を行います。					
指標	RWC2019及びオリンピック・パラリンピック関連の年間プレスリリース回数		現状値 (2018年度)	年 24回		
			目標値 (2023年度)	年 24回		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	年 24回	年 24回	—	—	—	
実施状況	年 24回	年 6回	16回			
2021年度 具体的な 取り組み	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた市民への周知を行うため、プレスリリースを行った。</p> <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピック関連:16回 (気運醸成:7回、聖火リレー:2回、ホストタウン:1回、事前キャンプ:2回、パラスポーツ:3回、ボランティア:1回) 					
総括	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、当初予定していたイベント実施は困難であったが、街中装飾や市ホームページ・SNSの活用等、様々な手段を駆使して情報発信を図り、気運醸成に取り組むことができた。多くの市民に参加いただいたインドネシアパラバドミントン代表チームの公開練習では、オンライン中継などの工夫を図り、感染症対策を講じた上で実施した。					

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
 (2)スポーツを通じたシティプロモーション

番号	4-2-3		実施主体	スポーツ振興課 観光まちづくり課	
取組項目	関係団体と連携したイベント開催体制の強化				
取組内容	スポーツ団体、ボランティア組織、観光関係団体等が連携し、スポーツイベント開催時に必要な調整や手続きに係る事務をパッケージ化して、イベント開催を円滑に進めます。				
指標	市内スポーツイベント等開催時の連携実施		現状値 (2018年度)	未連携	
			目標値 (2023年度)	連携による大会開催	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	プレキャンプでの連携の試行	事前キャンプでの連携の試行	・試行結果の検証 ・連携の実施検討	大会主催者等との調整	連携による大会開催
実施状況	プレキャンプでの連携の試行	未実施	未実施		
2021年度具体的な取り組み	未実施				
総括	東京2020大会前にインドネシアパラバドミントン代表チームの事前キャンプ受入れを行ったが、新型コロナウイルス感染症対策により選手との接触を職員等一部のみに限定して行う必要があったため、事前キャンプでの各団体との連携の試行は行うことが出来なかった。今後町田市で大会を開催していただくためには、まずは施設確保を行う必要があるため、施設確保のタイミングで大会主催者を含めた関係団体と連携を進めていく必要がある。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員
取組項目	スポーツにチャレンジの開催		
2021年度 具体的な 取組み	新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の使用中止などがあり、予定していた5回のうち2回を行った。1回は総合体育館、もう1回はサン町田旭体育館で、参加人数の制限などの対策を講じながら行った。子どもたちの体力低下や感染症対策に配慮した安全な事業実施を念頭に、極力用具を使用しないかつ十分なディスタンスを確保できる種目を中心に行った。		
総括	体育の授業やクラブ活動などが制限され、コロナ禍において運動機会が失われているためか、子どもたちにとっては単純な全力疾走などでも楽しめる要素になっているように見えた。一方で、用具を使用しない種目は運動強度が低く、物足りない様子の児童も散見されたため、次年度は引き続き感染症対策を講じながら、徐々に運動強度が高い種目を取り入れていきたい。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 子どもマラソン実行委員会
取組項目	町田市子どもマラソン大会の開催		
2021年度 具体的な 取組み	2年連続中止になったこともあり、事業の風化を懸念し、開催に向けて早々から検討を行うことで事業を実施することができた。通常小学3年生から6年生としていた対象を小学5年生および6年生に限定するほか、開会式などの式典の中止などの対策を講じ、当日は大きな事故もなく474人に参加いただいた。 また、今年度は会場である町田GIONスタジアムのバックスタンドが完成したこともあり、コースや動線などを大きく変更したが、結果的に大会のスムーズな運営や盛り上がりにつながった。		
総括	本大会は実行委員会を立ち上げて実施しているもので、委員とのこまめな情報共有や議論の積み重ねを行うことで、開催に向けて一致団結できたことや他自治体との情報交換を行ってきたことが大会を実施できた大きな要因であった。また、委員に就任いただいている小学校長を通じ、各学校の反応や現場の状況などの有益な情報を得られたことも力強い後押しとなった。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1) 子どものスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員
取組項目	地域スポーツクラブやスポーツ推進委員によるスポーツ教室の実施		
2021年度 具体的な 取り組み	<p>【地域スポーツクラブ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、10月まで教室事業を中止していたが、11月末から再開し、法政大学のスポーツ施設を活用し、法政クラブによるスポーツ教室を実施した。 各地域子どもセンターや市民センターにおいて、募集人数を制限する等、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を十分に講じたうえで子ども・親子向けスポーツ教室及び高齢者向けスポーツ教室を実施した。また、幼児・保護者向けの運動動画を作成し、ホームページで公開した。 <p>・アスレチッククラブ町田 実施教室: わくわくリズム運動 場 所: 子どもセンター ただON 参加人数: 14人</p> <p>【スポーツ推進委員】</p> <p>学校からの依頼に応じて市内3校で9回ボッチャ教室を11クラスに対して実施。358名が参加した。ボッチャ競技についての簡単な講義から、ルール説明、実践を行った。</p>		
総括	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を十分に講じ、各地域でスポーツ教室を実施することができた。</p> <p>スポーツ嫌いな児童でも楽しめるよう、また、コロナ禍でも安全に実施できるよう創意工夫を行った。ご依頼いただいた先生やボランティアコーディネータ、生徒からも好評をいただき、満足度は高かった。</p> <p>また、今年度は東京2020パラリンピックが開催され、ボッチャ競技でもメダル獲得の話題などがあったことも影響し、レガシーの一つにもなり得る可能性があると感じた。</p>		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1) 子どものスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者
取組項目	指定管理者によるスポーツ教室の実施		
2021年度 具体的な 取り組み	<p>【総合体育館】 6,920名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室事業 6,580名 <p>バスケットボールやフットサルスクール、フェンシング等の教室を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント 340名 <p>「チャレンジマッスル2021」で、忍者術を学びながら体を動かす楽しさを伝えることを伝えた「忍者学校」を行った。</p> <p>「エンジョイススポーツまちだ2022」で、トップアスリートを講師に招き、「ビクトリークリニックバドミントン」を実施した。</p> <p>【成瀬クリーンセンターテニスコート】 2,340名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢や技術レベルに応じたテニススクール及びテニスアカデミーを実施した。 ・「成瀬スポーツデー」と称し、走り方教室や運動遊び、フットサル教室等を実施した。 ・トップアスリートを講師に招き、「ビクトリークリニック硬式テニス」を実施した。 <p>【三輪みどり山球場】 380名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日の閑散期に、グラウンドを開放し、地域の子どもたちに運動する場の提供をした。 <p>(3月～12月、祝日を除く水曜日、1月～2月は、祝日を除く土日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「三輪みどり山球場スポーツデー」と称し、遊びを通してスポーツに触れ合う機会を提供することを目的に、走り方教室やフットサル教室等を実施した。 <p>【室内プール】 8,250名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢に応じた水泳教室の実施のほか、ダンス教室の実施。 ・水の安全教室として「ういてまて(着衣泳)」教室を実施。(全6回) <p>【緑ヶ丘グラウンド】 983名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッズサッカー教室や親子スポーツ教室、かけっこ教室を実施した。また、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に体力テストを実施した。 <p>【町田中央公園】 449名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間通じて1教室あたり、5回から15回程度の教室事業を開催。年齢に応じた体操教室やバレーボール、バトントワーリング、バスケットボール、トランボリンの教室を実施した。 <p>【野津田公園】 1,723名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象とした「ジュニア陸上教室」: 陸上競技の「走・跳・投」をはじめとする多種多様な運動教室を実施した。(45回実施) <p>【鶴間公園】 17,880名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テニスやダンス、体操、空手、チアダンス、ラグビー、フットサルなどの教室事業を実施した。 <p>【薬師池公園四季彩の杜 西園】 32名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラダンス体験を実施した。和太鼓教室を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。 		
総括	<p>昨年度に比べ、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止による制限が緩和され、各施設で多くのスポーツ教室を実施することができた。実施にあたっては、各施設で感染症感染拡大防止対策を十分に講じたうえで、指定管理者の特性を活かした事業が実施できている。</p> <p>一部の施設については、ワクチン接種会場となったため、教室開催が困難となった。</p>		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(2)働き盛り世代・子育てのスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者
取組項目	指定管理者によるスポーツ教室の実施		
2021年度 具体的な 取り組み	<p>【総合体育館】 4,507名 ・公開指導 2,942名 事前の予約が不要で当日参加が可能な教室事業。バドミントンの基本技術指導のほか、有酸素運動と筋力トレーニングを行う「シェイプボディ教室」を実施した。</p> <p>・教室事業 1,565名 勤労世代や子育て世代を対象とした、初心者アーチェリー教室や体操教室、大人のバレーボール教室、ヨガ、フラダンスなどの教室事業を実施した。</p> <p>【成瀬クリーンセンターテニスコート】 10,040名 ・基本から実践までレベルに応じたテニススクールを実施した。 ・トップアスリートを講師に招き、「ビクトリークリニック硬式テニス」を実施した。</p> <p>【三輪みどり山球場】 70名 「三輪みどり山球場スポーツデー」と称し、青空ヨガ教室やおなかシェイプ教室など、勤労世代や子育て世代を対象に自宅でも簡単に取り組めるプログラムを提供した。</p> <p>【室内プール】 859名 勤労世代や子育て世代を対象とした、ヨガを合計11回実施した。 プールとトレーニング室において、「早朝公開」、「延長公開」と称し、働き盛り世代や子育て世代へのスポーツをする場の提供として、開放時間を延長し、合計24回実施した。</p> <p>【緑ヶ丘グラウンド】 117名 ソサイチやフットサル教室を合計8回実施した。</p> <p>【町田中央公園】 759名 ・定期参加教室 80名 レベルに応じたヨガ教室やフラダンス教室、ピラティス教室を合計22回実施した。 ・自由参加教室 122名 予約なしで参加できる教室事業。骨盤調整の教室を8回実施した。 ※ワクチン接種会場使用に伴い、教室開催数が減少。</p> <p>【野津田公園】 608名 ・「パークヨガ教室」 子育て中で運動離れの傾向にある主婦、運動をはじめてみたいが苦手意識がある方を対象に、ヨガの魅力と公園の自然を感じてもらう教室。34回実施。</p> <p>【小野路公園】 590名 ・「アンチエイジングサッカー教室」 30歳以上の方を対象とした、大人のサッカークリニック。</p> <p>【鶴間公園】 4,306名 ヨガ、ピラティス、テニス、フットサルなどの教室事業を実施した。744回実施。</p> <p>【薬師池公園四季彩の杜 西園】 246名 リラクソスヨガやデトックスヨガなど、様々な種類のヨガ講座を行った。</p>		
総括	<p>昨年度に比べ、新型コロナウイルス感染症拡大防止による制限が緩和され、各施設で多くのスポーツ教室を実施することができた。一部の施設については、ワクチン接種会場使用に伴い、教室開催数が減少したが、全体では参加者数は増加している。各施設で感染症拡大防止対策を十分に講じたうえで、指定管理者の特性を活かした事業が実施できた。</p>		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(2)働き盛り世代・子育てのスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者 保健所
取組項目	保健所と連携した健康づくり教室の実施		
2021年度 具体的な 取り組み	<p>【保健所】 ①総合体育館におけるスポーツイベント(8月チャレンジマッスル、2月エンジョイスポーツ)にて、健康づくりに関するブースを出展 ②3月【運動と食のセミナー】において、スポーツでつなぐまちだパートナーズへ講師依頼をして実施</p> <p>【室内プール】 133名 11月の「町田市総合健康づくり月間」において、ヨガやボールエクササイズ、リフレクシユ体操などの教室を実施した。また、Facebookにて「お家でできるお手軽運動」を配信した。(11件配信/閲覧数532回)</p>		
総括	<p>感染症予防対策のため、参加人数の制限や対面での対応を避け実施することができた。今年度は事業を行うことができなかったが、今後も総合体育館と連携した取組をしたい。保健所主催の企画を通じて、運動機会を提供することができた。</p>		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(3)高齢者のスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員
取組項目	地域スポーツやスポーツ推進委員によるスポーツ教室の実施		
2021年度 具体的な 取り組み	<p>【地域スポーツクラブ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域市民センターで高齢者向けスポーツ教室については、募集人数を制限する等、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を十分に講じたうえで実施した。また、高齢者向けの運動動画を作成し、ホームページで公開した。 <p>・スポーツ塾J.VIC 実施教室:室内で無理なく簡単にできる！ストレッチ&トレーニング講座 場 所:堺市民センター 参加人数:12人</p> <p>・法政クラブ 実施教室:運動経験を問わない 体ほぐし教室 場 所:鶴川市民センター 参加人数:40人(10人×4回)</p> <p>【スポーツ推進委員】</p> <p>○南第一、第二、第三高齢者支援センター(南地域) 利用者に対してラダーゲッター講習会を行い、ルール説明、実践を実施した。 また、後日、講習を受けた方々が成果を披露する発表会が開催された。</p> <p>○ポッチャ講習 依頼を受けてJA忠生支店に出向き、ポッチャ講習会を実施した。 活動後は継続的な活動に向けて動き出しているとの話をいただき、きっかけづくりに貢献することができた。</p>		
総括	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を十分に講じ、各地域でスポーツ教室を実施することができた。今後も、市民に身近な場所での事業実施を行うほか、魅力ある教室事業を実施することで参加者増に向けて積極的にアプローチしていく。</p> <p>市民センターだけでなく、地域の方が参加しやすい場所(高齢者支援センター等)でスポーツ教室を開催することにより、より多くの方に対し、継続的にスポーツへ参加しやすい環境を提供する必要がある。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、予定されていた事業がいくつか延期になってしまうなど、思うように活動ができなかった。来年度は活動範囲を拡げ、実施機会を創出できるよう努力していきたい。</p>		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(3)高齢者のスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者
取組項目	指定管理者によるスポーツ教室の実施		
2021年度 具体的な 取り組み	<p>【総合体育館】 25,068名 ・公開指導 24,351名 事前の予約が不要で当日参加が可能な教室事業。卓球やエアロビクスのほか、ヨガや太極拳、体操の動きをベースとした、ストレッチや筋力トレーニング、バランストレーニングを、計660回実施した。</p> <p>・教室事業 717名 高齢者を対象とした、ニュースポーツ体験、卓球、太極拳の教室事業を実施した。</p> <p>【成瀬クリーンセンターテニスコート】 10名 ノルディックウォーキング教室を実施した。</p> <p>【三輪みどり山球場】 20名 ノルディックウォーキング教室を実施した。</p> <p>【室内プール】 3,763名 ・プール 2,610名 泳法やレベルに応じた水泳教室や水中エアロを、計319回実施した。</p> <p>・会議室及びトレーニング室 1,153名 脂肪燃焼エクササイズやシェイプアップエアロといった目的別の教室、理学療法士による姿勢改善予防教室など、計285回実施した。</p> <p>【緑ヶ丘グラウンド】 1,874名 ・平日の日中に、グラウンドゴルフやターゲットバードゴルフの教室、ニュースポーツの体験教室を、計309回実施した。</p> <p>【野津田公園】 3,088名 ・「エブリデイ健康教室」 398名 将来寝たきりにならないための予防として、ウォーキングや簡単な運動を計40回実施。</p> <p>・「野津田公園ユニカール教室」 247名 健康づくりと世代を超えたコミュニケーションづくりを目的に、計40回実施。</p> <p>・「野津田公園マレットゴルフ一般学習教室」 2,443名 健康づくりと世代を超えたコミュニケーションづくりを目的に、計180回実施。</p> <p>【町田中央公園】 1,418名 ・定期参加教室 45名 年間通じて教室事業を開催。「脳トレ&筋トレ教室」、「脳トレ&リフレッシュダンス」等、計26回実施した。</p> <p>※年齢制限のない自由参加教室の高齢者数は、950名</p> <p>・屋外教室(健康体操) 423名 【小野路公園】 1,172名 ・体操教室 ストレッチや体幹トレーニング、シェイプアップエクササイズ、タオル体操などの教室を、計183回実施した。</p> <p>【鶴間公園】 185名 ・スポーツ教室(太極拳、健康体操、ポールウォーキング等)計45回実施。</p> <p>【薬師池西公園】70名 ・大人のフラダンスや椅子を使用した簡単運動を実施。</p>		
総括	<p>昨年度に比べ、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止による制限が緩和され、各施設で多くのスポーツ教室を実施することができた。一部の施設については、施設工事やワクチン接種会場での使用により諸室の休止が生じ、教室開催が困難となったが、全体の参加者数は大幅に増加している。各施設で感染症感染拡大防止対策を十分に講じたうえで、指定管理者の特性を活かした事業が実施できた。</p>		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(4) 障がい者のスポーツ推進

番号	その他 取組項目	実施主体	障がい福祉課
取組項目	障がい者スポーツ大会の開催		
2021年度 具体的な 取り組み	例年、11/3(火)に町田市立総合体育館で開催しているが、2021年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため中止した。		
総括	不特定多数の方が集まるイベントであるため、参加者及び関係者の安全を考慮し中止した。次年度の開催については、感染拡大状況を注視しながら検討していく。		

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
(1) スポーツを支える人材の育成

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 体育協会
取組項目	有資格指導者データベースの作成・情報提供		
2021年度 具体的な 取り組み	体育協会内のスポーツ育成委員会と連携を取り、有資格者データベースの情報提供方法について検討を行った。		
総括	有資格者データベースの活用方法、課題等について体育協会と意見交換し、実現に向けて事業を進めていきたい。		

基本目標3 スポーツ環境の充実
(1) 「する」スポーツ環境の充実

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課
取組項目	スポーツ施設改修に伴う施設の機能向上(室内プール・総合体育館改修、温浴施設整備)		
2021年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・温浴施設の整備工事が終了した(2022年12月17日)。 ・総合体育館の改修工事に向け、工事手法やスケジュールの見直し等を関係各課と行った。 		
総括	<ul style="list-style-type: none"> ・温浴施設については、2022年4月から供用開始予定。 ・総合体育館を早期に改修できるよう引き続き庁内の調整を図っていく。 		

基本目標3 スポーツ環境の充実
(1) 「する」スポーツ環境の充実

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ
取組項目	クラブハウスを活用したスポーツ環境の充実		
2021年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・教育センタークラブハウス、南大谷小学校クラブハウスについては、地域スポーツクラブに維持・管理運営を委託し、利用が少ない時間帯等を活用して、卓球開放や輪投げ開放、体幹教室などを実施し、幅広い世代がスポーツに関わる機会の提供を行った。 ・町田第四小学校、武蔵岡中学校クラブハウスについては、シルバー人材センターに維持・管理運営を委託し、学校開放利用団体が使用する際に、受付業務等を行った。 ・七国山小学校クラブハウスについては、七国山クラブ(地域スポーツクラブ)が維持・管理運営を行っている。 		
総括	クラブハウスについて、地域スポーツクラブが維持・管理運営していくことで、拠点として活用できるように検討していく必要がある。		

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
 (1)スポーツ情報の発信

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課
取組項目	デジタルサイネージによる情報提供		
2021年度 具体的な 取り組み	デジタルサイネージの設置について、現在調整中である。		
総括			